

第Ⅰ会場

【午前の部】

- I-1 猫の肥大型心筋症に伴う大動脈血栓塞栓症に対しリバーロキサパンで管理した1例** ●
飯塚 智也¹⁾、水谷 壽孝²⁾、穴澤 哲也¹⁾、古川 敬之¹⁾、塩月 彰子¹⁾、小島 高¹⁾、
岡田 由沙実¹⁾、西村 隆慈¹⁾、若田 智博¹⁾、小野 憲一郎³⁾、平尾 秀博³⁾
[1)日本動物高度医療センター 名古屋、2)かえでアニマルクリニック、3)日本動物高度医療センター 川崎]

- I-2 僧帽弁形成術施術犬の周術期における服薬の変動** ●
島 瑞帆¹⁾、三原 吉平¹⁾、佐藤 恵一¹⁾、佐藤 祐佳¹⁾、鈴木 裕弥¹⁾、伊藤 健太郎¹⁾、
上野 雄史¹⁾、水野 理央¹⁾、金本 勇¹⁾
[1) 茶屋ヶ坂動物病院]

- I-3 肺動脈狭窄症と動脈管開存症を併発した犬に対し、インターベンション治療を行った1例** ●
白石 健士郎¹⁾、小林 慶哉¹⁾、池田 正悟¹⁾、安平 佑正¹⁾、千村 収一¹⁾
[1) 千村どうぶつ病院]

- I-4 高耐圧バルーンを用いて弁口拡大術を実施した肺動脈狭窄症の犬の1例** ●
新実 誠矢^{1,2)}、青木 卓磨^{1,2)}、藤井 洋子^{1,2)}
[1) 麻布大学附属動物病院 循環器科、2) 麻布大学小動物外科学研究室]

- I-5 Discrete 型 membranous type 大動脈弁下部狭窄に対してバルーン弁口拡大術を実施した犬の1例** ●
安藤 崇則¹⁾、馬場 敬志¹⁾、藤岡 崇伯²⁾、酒井 康二³⁾
[1) ハートウィル動物病院、2) ゆめさき動物病院、3) ライト動物病院]

【午後の部】

- I-6 僧帽弁形成術後における僧帽弁逆流面積の推移** ●
鈴木 裕弥¹⁾、三原 吉平¹⁾、佐藤 恵一¹⁾、佐藤 祐佳¹⁾、伊藤 健太郎¹⁾、上野 雄史¹⁾
寺師 伸尚¹⁾、水野 理央¹⁾、金本 勇¹⁾
[1) 茶屋ヶ坂動物病院]

- I-7 収縮性心膜炎の猫の1例** ●
高尾 紘一郎¹⁾、高尾 知美¹⁾、町田 登²⁾
[1) たかお動物病院、2) 東京農工大学農学部共同獣医学科]

- I-8 猫の伝染性腹膜炎（FIP）に関連した心筋炎の1例** ●
平川 篤¹⁾、猪狩 和明¹⁾、柘植 彩¹⁾ 上村 駿介¹⁾、大塚 浩平¹⁾、町田 登²⁾
[1) ペットクリニックハレルヤ粕屋病院、2) 東京農工大]

- I-9 新生児および幼齢犬の短絡性心疾患の経過** ●
田口 大介^{1,2)}、信貴 智子¹⁾、國久 要²⁾
[1) 盛岡グリーン動物病院、2) グリーン動物病院]

- I-10 心エコー図検査による左室壁厚をふまえた左室拡張末期圧スコアの検討** ●
大石 隆光¹⁾
[1) 長居動物病院]

- I-11 心エコー図検査による粘液腫様変性性僧帽弁疾患罹患犬における僧帽弁輪の形態評価** ●
上野 雄史¹⁾、三原 吉平¹⁾、佐藤 恵一¹⁾、佐藤 祐佳¹⁾、鈴木 裕弥¹⁾、伊藤 健太郎¹⁾
寺師 伸尚¹⁾、水野 理央¹⁾、金本 勇¹⁾
[1) 茶屋ヶ坂動物病院]

- I-12 犬の拡張型心筋症の臨床経過を詳細に追うことができた2例** ●
荒蒔 義隆¹⁾
[1) ベイ動物病院]

- I-13 カテコラミン心筋症により急死した褐色細胞腫の犬の1例** ●
平川 篤¹⁾、猪狩 和明¹⁾、柘植 彩¹⁾、上村 駿介¹⁾、大塚 浩平¹⁾、町田 登²⁾
[1) ペットクリニックハレルヤ粕屋病院、2) 東京農工大]

- I-14 左房破裂を呈し緊急的に僧帽弁形成術を実施した僧帽弁閉鎖不全症の犬の2例** ●
水野 理央¹⁾、三原 吉平¹⁾、佐藤 恵一¹⁾、佐藤 祐佳¹⁾、鈴木 裕弥¹⁾、伊藤 健太郎¹⁾
上野 雄史¹⁾、寺師 伸尚¹⁾、金本 勇¹⁾
[1) 茶屋ヶ坂動物病院]

- I-15 僧帽弁形成術において術中一時ペーシング電流による電撃傷が疑われた犬の1例** ●
寺師 伸尚¹⁾、三原 吉平¹⁾、佐藤 恵一¹⁾、鈴木 裕弥¹⁾、佐藤 祐佳¹⁾、上野 雄史¹⁾
伊藤 健太郎¹⁾、水野 理央¹⁾、金本 勇¹⁾
[1) 茶屋ヶ坂動物病院]

- I-16 僧帽弁の形態と機能に対する僧帽弁形成術の介入効果** ●
三原 吉平^{1,2)}、金本 勇¹⁾、佐藤 恵一¹⁾、安平 佑正¹⁾、渡辺 樹¹⁾、鈴木 裕弥¹⁾
名倉 隼平¹⁾、三角 一浩²⁾
[1) 茶屋ヶ坂動物病院、2) 鹿児島大学 共同獣医学部 共同獣医学研究科]

第Ⅱ会場

【午前の部】

Ⅱ-1 脳腫瘍（嚢胞性髄膜腫）摘出後、19 ヲ月間良好であった猫が神経症状を呈し、再度脳腫瘍の摘出手術を行い良好な経過を呈した 1 症 ●
長屋 有祐¹⁾、下郷 郁雄²⁾、長屋 好昭¹⁾、小塚 友喜¹⁾、堀内 翔太¹⁾、出馬 萌江¹⁾
古川 智基¹⁾、山下 夏未¹⁾、西田 啓太¹⁾
[1) 長屋動物医療センター、2) 滝ノ水動物病院]

Ⅱ-2 口腔内悪性黒色腫に対しオルソボルテージを照射した犬の 13 例に関する検討 ●
太田 宜亨¹⁾、田代 淳¹⁾、福田 知記¹⁾、吉田 健人¹⁾、山岸 雅博¹⁾、徳澤 侑太¹⁾
八竹 直哉¹⁾、生川 幹洋¹⁾
[1) 三重動物医療センター]

Ⅱ-3 遺伝性消化管ポリポーシスを家族性に認めたジャック・ラッセル・テリアの 2 例 ●
尾崎 佐記^{1,2)}、原田 高志^{1,2)}、曾我 真也^{1,2)}、太田 茉耶^{1,3)}、西 春季¹⁾、藤井 千紘¹⁾
船戸 このか¹⁾、内藤 晴道^{1,2)}
[1) ハート動物クリニック 2) 東三河小動物臨床研究会 130 かわい動物病院内、3) 岐阜大学附属動物病院]

Ⅱ-4 インスリノーマ様症状をみせた肝細胞癌の犬の 1 例 ●
西 春季²⁾、原田 高志^{1,2)}、尾崎 佐記^{1,2)}、藤井 千紘^{1,2)}、船戸 このか^{1,2)}、内藤 晴道^{1,2)}
[1) ハート動物クリニック、2) 東三河小動物臨床研究会]

Ⅱ-5 気管切除術を 2 回実施した気管腺癌の猫の 1 例 ●
田口 正行¹⁾、横川 友軌¹⁾、川手 玲美¹⁾
[1) 田口動物病院]

【午後の部】

Ⅱ-6 原発巣切除後 7 年以上経過して小腸および後腹膜に再発した gastrointestinal stromal tumor の犬 1 例 ●
平松 栞¹⁾、小島 健太郎^{1,2)}、小島 早織¹⁾、江成 暁子¹⁾、内海 恵利¹⁾
[1) あすなろ動物病院、2) 小島獣医院]

Ⅱ-7 幽門部胃腺腫の猫の 1 例 ●
川手 玲美¹⁾、横川 友軌¹⁾、田口 正行¹⁾
[1) 田口動物病院]

Ⅱ-8 らせん菌の除菌療法により完全寛解が得られた胃の大細胞性リンパ腫の猫の 1 例 ●
杉山 淳¹⁾
[1) 駿河どうぶつの病院]

Ⅱ-9 犬の脳腫瘍に術中 MRI を用いて開頭術を行った 17 例の治療成績 ●
和田 章秀^{1,4)}、溝口 俊太²⁾、長谷川 大輔³⁾
[1) よつや動物病院、2) はとがや動物病院、3) 日本獣医生命科学大学獣医放射線学研究室、4) 北陸動物医療チーム]

Ⅱ-10 猫の脾臓の肥満細胞腫の 1 例と血中ヒスタミン濃度 ●
水野 累¹⁾、米丸 加余子^{1,2)}
[1) 水野動物病院、2) 岐阜病理ラボラトリー]

Ⅱ-11 軟口蓋吻側牽引により直視下組織生検が可能であった咽頭鼻部腫瘍の猫の 1 例 ●
藤井 亜希奈¹⁾、早部 裕紀¹⁾、木村 勇介¹⁾、福井 翔²⁾
[1) 東京動物医療センター、2) 江別白樺通りアニマルクリニック]

Ⅱ-12 犬における鼻ポリープの 2 例 ●
高橋 雅弘¹⁾、藁戸 由樹¹⁾、篠崎 春香¹⁾、稲田 かなみ¹⁾、溝口 央¹⁾ 鍛冶 伸光²⁾
[1) 高橋ペットクリニック、2) かじ動物クリニック]

Ⅱ-13 レントゲンで特徴的な肺転移所見を示した鼻腔内リンパ腫の猫の 1 例 ●
水谷 到¹⁾、海津 直美¹⁾、中桐 由布¹⁾
[1) 森動物病院]

Ⅱ-14 メトロニック化学療法とトセラニブリン酸塩の併用治療を行った鼻腔内癌の犬の 2 例 ●
藤井 千紘^{1,2)}、原田 高志^{1,2)}、太田 茉耶^{1,3)}、尾崎 佐記^{1,2)}、曾我 真也^{1,2)}
西 春季^{1,2)}、船戸 このか^{1,2)}、内藤 晴道^{1,2)}
[1) ハート動物クリニック、2) 東三河小動物臨床研究会、3) 岐阜大学附属動物病院]

Ⅱ-15 肺扁平上皮癌の転移と思われる猫の 1 例 ●
柳本 勲¹⁾、湯浅 朋子¹⁾、宮窪 真由香¹⁾、服部 峻佑¹⁾、下岡 由佳¹⁾
藤本 純平¹⁾、富士井 敬之¹⁾、岸 知里¹⁾、杉崎 勝樹¹⁾
[1) まさき動物病院]

第Ⅲ会場

【午前の部】

Ⅲ-1 一次診療施設における犬の貧血を評価するための網赤血球ヘモグロビン濃度の有用性の検証 ●
平 寛人¹⁾、平野 貴史¹⁾、内藤 瑛治¹⁾、横田 峻也¹⁾、位田 貴紀¹⁾
成田 桃子¹⁾、湯木 正史¹⁾
[1) 湯木どうぶつ病院]

Ⅲ-2 鉄欠乏を伴わない猫の腎性貧血の治療における鉄剤投与の有効性についての検討 ●
横田 峻也¹⁾、平野 貴史¹⁾、内藤 瑛治¹⁾、平 寛人¹⁾、成田 桃子¹⁾、村岡 幸憲²⁾
山崎 淳²⁾、鳥本 亮太²⁾、湯木 正史¹⁾
[1 湯木どうぶつ病院、2) 新都心どうぶつ病院]

Ⅲ-3 診断に苦慮した高カルシウム血症の犬の1例 ●
宮窪 真由香¹⁾、湯浅 朋子¹⁾、柳本 勲¹⁾、下岡 由佳¹⁾、藤本 純平¹⁾、富士井 敬之¹⁾、
岸 知里¹⁾、岩下 朋乃樺¹⁾、杉崎 勝樹¹⁾
[1) まさき動物病院]

Ⅲ-4 猫の甲状腺機能亢進症における治療方法別の生存期間の検討：甲状腺摘出術とメチマゾール投与の比較 ●
内藤 瑛治¹⁾、平野 貴史¹⁾、平 寛人¹⁾、横田 峻也¹⁾、成田 桃子¹⁾
位田 貴紀¹⁾、湯木 正史¹⁾
[1) 湯木どうぶつ病院]

Ⅲ-5 被嚢性腹膜硬化症と診断した猫の1例 ●
水田 賢司¹⁾、酒川 雄右¹⁾、清水 景子¹⁾、真能 敬弘¹⁾、小楠 諒¹⁾、
安藤 久美子¹⁾、石黒 久嗣¹⁾、木村 和裕¹⁾、成田 正斗¹⁾
[1) なりた犬猫病院]

【午後の部】

Ⅲ-6 水和性髄核脱出（HNPE）を疑い内科治療を行った犬の21例に関する検討 ●
西村 隆慈¹⁾、穴澤 哲也¹⁾、若田 智博¹⁾、古川 啓之¹⁾、小野 憲一郎²⁾
平尾 秀博²⁾
[1) 日本動物高度医療センター名古屋、2) 日本動物高度医療センター川崎]

Ⅲ-7 てんかん重積状態および群発発作を主訴に夜間救急に来院した症例の回顧的研究 ●
加地 英樹¹⁾、森田 肇¹⁾、北島 肇¹⁾、今井 彩加¹⁾、森本 貴文¹⁾、橋本 千晶¹⁾
[1) 日本小動物医療センター 夜間救急診療科]

Ⅲ-8 活性化凝固時間の測定が診断に繋がった第Ⅺ因子欠乏症のネコの1例 ●
山口 潤¹⁾、山口 憂子¹⁾
[1) 希望の丘どうぶつ病院]

Ⅲ-9 無痛性潰瘍を呈した好酸球性肉芽腫群と診断した猫に対してアレルゲン特異的IgE検査を実施した1症例 ●
為近 俊幸¹⁾
[1) なにわ動物病院]

Ⅲ-10 免疫介在性皮膚炎の治療に苦慮した犬の1例 ●
篠宮 佑季^{1,2)}、平林 弘行¹⁾
[1) さくら動物病院、2) 亀戸動物総合病院]

Ⅲ-11 犬の反応性多発性関節炎の基礎疾患および治療反応の関連 ●
成田 桃子¹⁾、平野 貴史¹⁾、内藤 瑛治¹⁾、横田 峻也¹⁾
平 寛人¹⁾、湯木 正史¹⁾
[1) 湯木どうぶつ病院]

Ⅲ-12 両眼に発生した角膜内皮ジストロフィーに対して Gunderson Conjunctival Flap と
Letter Box Keratoleptynsis を実施したボストンテリアの1例 ●
佐藤 秀樹^{1,2)}
[1) トピア動物病院 東三河どうぶつ眼科診療室、2) 東三河小動物臨床研究会]

Ⅲ-13 HIF 阻害剤ハロフジノンのマウス網膜変性モデルに対する治療的効果とその分子機序に関する検討 ●
三輪 幸裕^{1,2,3)}、正田 千穂^{2,3,4)}、根岸 一乃²⁾、栗原 俊英^{2,3)}
[1) あいち動物眼科、2) 慶應大学・眼科学教室、3) 慶應大学・光生物学研究室、4) 日本大学]

Ⅲ-14 無色の異所性睫毛の犬の1例 ●
中原 和人¹⁾、佐藤 直秀²⁾
[1) 中原動物病院、2) さとう動物病院]

Ⅲ-15 東洋眼虫症の犬の1例 ●
田中 葉月¹⁾、平島 享¹⁾、井戸 美紗子¹⁾、千村 収一¹⁾
[1) 千村どうぶつ病院]

第Ⅳ会場

【午前の部】

Ⅳ-1 血小板減少症を呈した脾臓型肥満細胞腫で外科介入した猫の1例 ●
富士井 敬之¹⁾、湯浅 朋子¹⁾、柳本 勲¹⁾、宮窪 真由香¹⁾、服部 峻佑¹⁾
下岡 由佳¹⁾、藤本 純平¹⁾、岸 知里¹⁾、杉崎 勝樹¹⁾
[1) まさき動物病院]

Ⅳ-2 手術室内 CT 装置による術中 CT 検査の有用性について ●
古川 智基¹⁾、長屋 好昭¹⁾、長屋 有祐¹⁾、堀内 翔太¹⁾、出馬 萌江¹⁾
山下 夏未¹⁾、西田 啓汰¹⁾
[1) 長屋動物医療センター]

Ⅳ-3 外科的摘出を実施した高悪性度消化器型リンパ腫の2例 ●
湯浅 朋子¹⁾、宮窪 真由香¹⁾、柳本 勲¹⁾、服部 峻佑¹⁾、下岡 由佳¹⁾、
岸 知里 Chisato¹⁾、岩下 朋乃樺¹⁾、杉崎 勝樹¹⁾
[1) まさき動物病院院]

Ⅳ-4 先天性門脈体循環シャントの結紮後発作症候群を呈した猫の3例 ●
酒川 雄右¹⁾、清水 景子¹⁾、水田 賢司¹⁾、真能 敬弘¹⁾、小楠 諒¹⁾、安藤 久美子¹⁾、
梁瀬 将豪²⁾、成田 正斗¹⁾
[1) なりた犬猫病院、2) 岐阜大学応用生物科学部附属動物病院 腫瘍科]

Ⅳ-5 進行性脊髄軟化症の犬に対する拡大片側椎弓切除および硬膜切開の有用性に関する検討 ●
若田 智博¹⁾、古川 敬之¹⁾、西村 隆慈¹⁾、穴澤 哲也¹⁾、小野 憲一郎²⁾
博平尾 秀博²⁾
[1) 日本動物高度医療センター名古屋、2) 日本動物高度医療センター川崎]

【午後の部】

Ⅳ-6 局所麻酔中毒を疑い脂肪乳剤で治療し救命できた1例 ●
石塚 友人¹⁾、畠 賢児²⁾、林 光児²⁾、田川 恵²⁾、長谷川 正昭²⁾
[1) VES 合同会社、2) 海浜動物医療センター]

Ⅳ-7 骨盤拡張した猫の2症例 ●
渡邊 陽菜子¹⁾、平林 弘行¹⁾
[1) さくら動物病院]

Ⅳ-8 小腸に発生した重複腸管の犬の2例 ●
鍛冶 伸光¹⁾、鍛冶 典之¹⁾、鍛冶 大介¹⁾、高橋 雅弘²⁾、蕨戸 由樹²⁾、
篠崎 春香²⁾、稲田 かなみ²⁾、溝口 央²⁾
[1) かじ動物クリニック、2) 高橋ペットクリニック]

Ⅳ-9 傍前立腺嚢胞による両側性会陰ヘルニアの犬の1例 ●
濟城 順也¹⁾、岩城 ひかり¹⁾、松井 信貴²⁾
[1) 濟城動物病院、2) 白木原動物病院]

Ⅳ-10 両側の肘関節脱臼を伴った尺骨粉碎骨折の猫の1例 ●
水野 景介¹⁾
[1) ひがしやま動物病院]

Ⅳ-11 7.0kg 以下の犬の前十字靱帯断裂に対して TTARapidTINY system を用いた
脛骨粗面前進化術の後ろ向き研究 (46 例 52 膝) ●
伏見 寿彦^{1,2)}、伏見 桃¹⁾、中野 弘貴¹⁾、渡邊 亜由美¹⁾、左近允 巖²⁾
[1) 伏見動物病院、2) 北里大学 小動物第 1 外科学研究室]

Ⅳ-12 犬の胸腰部硬膜内椎間板ヘルニアにおける MRI 所見の特徴 ●
穴澤 哲也¹⁾、古川 敬之¹⁾、塩月 彰子¹⁾、岡田 由沙実¹⁾、西村 隆慈¹⁾
若田 智博¹⁾、飯塚 智也¹⁾、小野 憲一郎²⁾、平尾 秀博²⁾
[1) 日本動物高度医療センター名古屋、2) 日本動物高度医療センター川崎]

Ⅳ-13 若齢犬から重症犬における習慣性膝蓋骨内方脱臼におけるピンニング法 ●
太田 理造 Rizo OTA¹⁾
[1) 犬山動物総合医療センター]

Ⅳ-14 同種移植骨を用いた橈骨尺骨骨折癒合不全の犬の1例 ●
谷 友一郎¹⁾
[1) ゆう動物病院]

Ⅳ-15 高齢犬（14 歳齢以上）における僧帽弁形成術の成績 ●
梅野 凌¹⁾、三原 吉平¹⁾、佐藤 恵一¹⁾、佐藤 祐佳¹⁾、鈴木 祐弥¹⁾、
上野 雄史¹⁾、伊藤 健太郎¹⁾、寺師 伸尚¹⁾、金本 勇¹⁾
[1) 茶屋ヶ坂動物病院]

Ⅳ-16 気腹時 CT 画像から解析した犬の腹腔鏡下胆嚢摘出術における適切なポート位置 ●
近藤 元紀^{1,2)}
[1) りんごの樹動物病院、2) 岐阜大学獣医外科学研究室]

第Ⅴ会場

【午前の部】

- V-1 真性半陰陽の犬の1例** ●
木村 和裕¹⁾、酒川 雄右¹⁾、清水 景子¹⁾、水田 賢司¹⁾、真能 敬弘¹⁾
小楠 諒¹⁾、安藤 久美子¹⁾、石黒 久嗣¹⁾、成田 正斗¹⁾
[1) なりた犬猫病院]

- V-2 11ヵ月齢で腹膜炎を併発した子宮蓄膿症の犬の1例** ●
今西 貴久¹⁾、今西 奈穂子¹⁾
[1) 菜の花動物病院]

- V-3 抗真菌薬感受性試験が治療に役立った愛玩鳥の3例** ●
今西 奈穂子¹⁾、今西 貴久¹⁾、大村 美紀^{2,3)}
[1) 菜の花動物病院、2) 株式会社 MycoLabo、3) 帝京大学医学研究科]

- V-4 若齢で発症した両側性腎細胞癌の犬の1例** ●
中桐 由布¹⁾、海津 直美¹⁾、水谷 到¹⁾
[1) 森動物病院]

- V-5 猫の閉塞性腎症におけるSAA値の測定意義の検討** ●
桑原 康人¹⁾、石野 明美¹⁾、桑原 典枝¹⁾
[1) クワハラ動物病院]

【午後の部】

- V-6 腎臓破裂に対し皮下尿管バイパスを設置した猫の1例** ●
寺門 俊博¹⁾、河邊 和久¹⁾、清水 沙代子¹⁾、奈良橋 里美¹⁾、吉川 真由¹⁾
浅井 一寿¹⁾、阿部 範子¹⁾、富山 瑛介¹⁾、平林 龍太郎¹⁾
[1) てらかど動物病院]

- V-7 術前の血漿クレアチニン値による僧帽弁形成術の成績の比較** ●
伊藤 健太郎¹⁾、三原 吉平¹⁾、佐藤 恵一¹⁾、佐藤 祐佳¹⁾、鈴木 裕弥¹⁾、
上野 雄史¹⁾、寺師 伸尚¹⁾、水野 理央¹⁾、金本 勇¹⁾
[1) 茶屋ヶ坂動物病院]

- V-8 飼育鳥における鳥ボルナウイルスによる腺胃拡張症の4症例** ●
曾我 真也^{1,2)}、原田 高志^{1,2)}、太田 茉耶^{1,3)}、尾崎 佐記^{1,2)}、西 春季^{1,2)}、
藤井 千紘^{1,2)}、船戸 このか^{1,2)}、内藤 晴道^{1,2)}
[1) ハート動物クリニック、2) 東三河小動物臨床研究会、3) 岐阜大学附属動物病院]

- V-9 犬の歯周病治療介入における血液検査学的改善パターンに関する回顧的調査** ●
田村和也^{1,2)}
[1) たむら動物クリニック、2) 岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科 歯周病態学分野]

- V-10 非妊娠猫における子宮捻転の1例** ●
岩下 朋乃樺¹⁾、湯浅 朋子¹⁾、柳本 勲¹⁾、宮窪 真由香¹⁾、服部 俊祐¹⁾、
下岡 由佳¹⁾、藤本 純平¹⁾、富士井 敬之¹⁾、杉崎 勝樹¹⁾
[1) まさき動物病院]

- V-11 超音波ガイド下にてピッグテイル型膀胱造瘻チューブを設置した尿道閉塞の猫2例** ●
山崎 裕之¹⁾
[1) やまさきペットクリニック]

- V-12 尿道閉塞腫瘍に対し腹壁膀胱瘻術を行った犬の1例** ●
川瀬 康孝¹⁾、甲斐 勝行¹⁾
[1) かい動物病院]

- V-13 子宮腺癌の大網転移により重度の腹水貯留を呈した猫の1例** ●
船戸 このか¹⁾、原田 高志^{1,2)}、尾崎 佐記^{1,2)}、曾我 真也^{1,2)}
西 春季^{1,2)}、藤井 千紘^{1,2)}、内藤 晴道^{1,2)}
[1) ハート動物クリニック、2) 東三河小動物臨床研究会]

- V-14 尿道結石により尿道カテーテルが抜けなくなった猫の1例** ●
下岡 由佳¹⁾、湯浅 朋子¹⁾、柳本 勲¹⁾、宮窪 真由香¹⁾、服部 峻佑¹⁾
藤本 純平¹⁾、富士井 敬之¹⁾、岸 知里¹⁾、杉崎 勝樹¹⁾
[1) まさき動物病院]

- V-15 勢手術から11年後に精巢腫瘍を発症した犬の1例** ●
浅井 一寿¹⁾、寺門 俊博¹⁾、河邊 和久¹⁾、清水 沙代子¹⁾
奈良橋 里美¹⁾、吉川 真由¹⁾
[1) てらかど動物病院]

- V-16 避妊手術後に発生した重篤な合併症の2例** ●
野村 彬仁¹⁾、森島 隆司¹⁾、浅井 亨¹⁾、森島 常統¹⁾、猿渡 朋子¹⁾
小出 祐揮¹⁾、井本 博貴¹⁾、佐々木 雅一¹⁾、加藤 泰一郎¹⁾
[1) みどり動物病院]